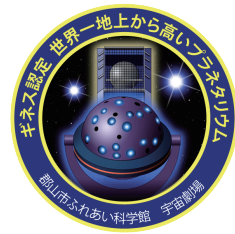


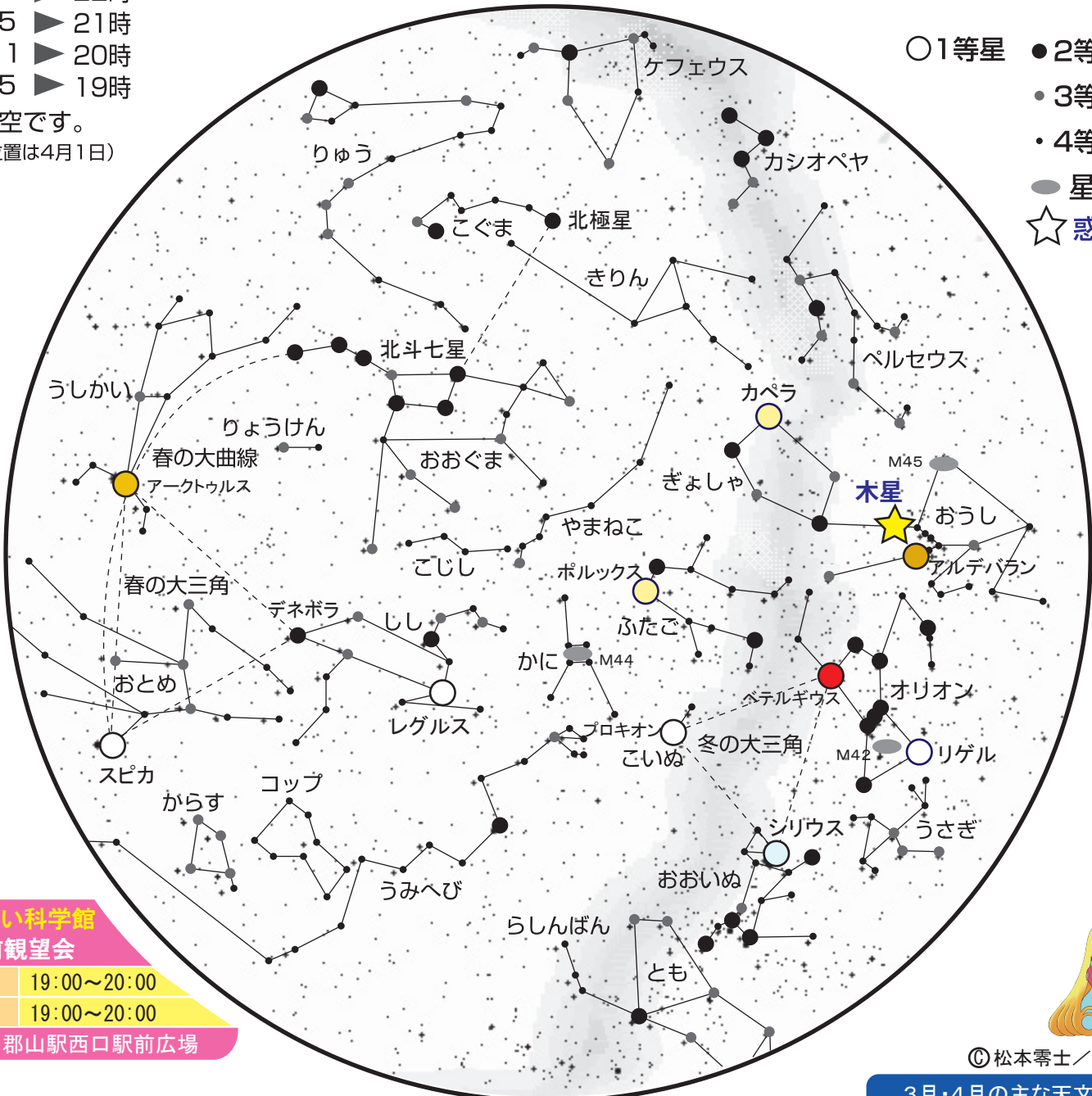
2013年

# 3月▶4月の星空



この図は  
 3/ 1 ▶ 22時  
 3/15 ▶ 21時  
 4/ 1 ▶ 20時  
 4/15 ▶ 19時

頃の星空です。  
 (惑星の位置は4月1日)



- 1等星 ●2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆惑星

**ふれあい科学館 駅前観望会**  
 3/23 19:00~20:00  
 4/20 19:00~20:00  
 場所：郡山駅西口駅前広場



©松本零士/郡山市

郡山の日の出・日の入			月の満ち欠け		
3/ 1	6:10	17:32	新月	3/12, 4/10	
3/15	5:50	17:46	上弦	3/20, 4/18	
4/ 1	5:24	18:01	満月	3/27, 4/26	
4/15	5:04	18:14	下弦	3/ 5, 4/ 3	

※上弦、下弦は半月です。

3月・4月の主な天文現象	
3/10	パンスターズ彗星が近日点を通過
3/20	春分の日
4/ 1	水星が西方最大離角
4/29	土星が衝

3月10日、パンスターズ彗星が近日点（最も太陽に近づく位置のこと）を通過します。2011年6月に発見されて以降、肉眼で見えるほど明るくなるのが期待されてきました。しかし、彗星の明るさの予報は難しく、実際にどのように見えるかは直前まで分かりません。太陽に近づくことで、分裂して明るくなるかもしれませんので、最新情報をチェックするようにしてください！日本での見ごろは、3月10日以降と予想されています。

にぎやかだった冬の星たちと木星が西の空に傾き、東の空からは春の星たちがのぼってきました。春の星空の目印となるのが、有名な「北斗七星」です。「おおぐま座」の腰から尻尾の星にあたり、まるで「ひしゃく」のような姿に見えます。日本では、地方により様々な呼び名がありました。たとえば、「七星剣」「七星様」「四三の星」「ヒシャクボシ」などです。北斗七星から春の大曲線をたどり、春の大三角を結べば、そこからさらに「からす座」や「コップ座」といった星座を見つけることができます。まずは、北の七つ星「北斗七星」を探してください。

春は「春霞」というように、ぼんやりとかすんで見えることも多くありますが、大気の中に水蒸気が多く含まれているときなどは、低い空にある星の色が変わって見えることもあります。そんな星の表情の違いにもご注目ください。

